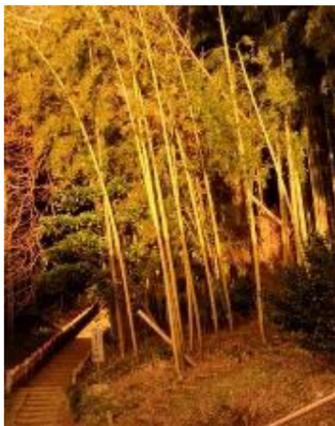
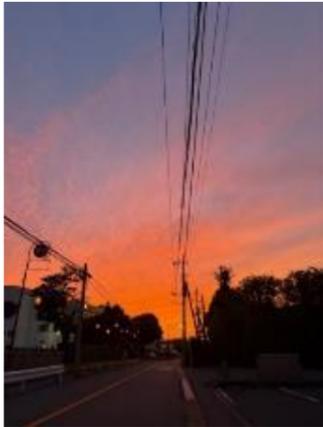


<p>1 稲田にシャワーの後 あざやかな虹のアーチ</p>  <p>突然の豪雨の後、お日様が大きな虹を稲田の上に描きました。自然が豊かな佐倉に住んで、よかった、よかった。</p>	<p>2 ピンクのポスト</p>  <p>新町六町のモニュメントとピンクのポストの対比が面白いと感じた。</p>	<p>3 印旛沼の日暮れ</p>  <p>日暮れの空に風車のシルエットが映えると感じた。</p>	<p>4 庭園の夕陽</p>  <p>西陽を受ける庭園の大木に感動して。</p>
<p>5 堀田家の家紋立木瓜</p>  <p>旧堀田邸の玄関の屋根は起り破風、跨ぎ鬼瓦には堀田家の家紋の立木瓜が光っています。懸魚や蛙股も見られ木造建築独特の造形美です。紅葉の終わりごろでしたが、綺麗に輝いてました。</p>	<p>6 旧河原家の梅見頃</p>  <p>城下町佐倉を象徴する武家屋敷で、お客様が最初に見学に入る旧河原家には老木の白梅と紅梅があります。淡い香りを漂わせ白梅の見頃です。茅葺き屋根の江戸時代にタイムスリップした風情を感じます。</p>	<p>7 若竹伸びるひよどり坂</p>  <p>武家屋敷の見学後、ひよどり坂を散策しました。何本もの若竹が天に向かって真っすぐ伸びています。自然の生命力、エネルギーを感じました。</p>	<p>8 日本一の田んぼの向こうに</p>  <p>今後整備されるふろさと広場のいまの光景をのこしておきたい。</p>
<p>9 帰り道</p>  <p>当時、高校生だった時の自分が撮った1枚だから。懐かしく思い、この写真を選びました。</p>	<p>10 嵐の後は…</p>  <p>台風の影響で午前中は大雨が続き、夕方ようやく買い物の為に外に出た時、橋のところで、人々が立ち止まり空を見上げていたので、私もつられて見上げると、大きく鮮明に虹がかかっており、とても感動したから。</p>	<p>11 C/2023 A3紫金山・アトラス彗星</p>  <p>佐倉の星空は綺麗なので、みんなに見せたい</p>	<p>12 光向</p>  <p>水面に映る輝きが綺麗だと思ったからです。</p>

わたしが見つけた佐倉の景観応募写真応募者コメント一覧

<p>13 雪と桜の出会い</p>  <p>雪と桜という滅多にない写真が素敵だと感じたからです。</p>	<p>14 竹の小道</p>  <p>自然と歴史がある竹林を歩いているように感じれる写真だと思ったからです。</p>	<p>15 リーフデブルー</p>  <p>佐倉のシンボル 長く残したい。</p>	<p>16 リーフデオレンジ</p>  <p>佐倉のシンボル 長く残したい。</p>
<p>17 清廉な朝</p>  <p>清々しい一時を切り取りました。</p>	<p>18 荘厳な朝</p>  <p>厳粛で静寂な日の出を記録しました。</p>	<p>19 街へ</p>  <p>坂を降りる最中に見える街並みが好きのため</p>	<p>20 風が走る</p>  <p>佐倉駅のホームを吹き抜ける風が少し暑く夏の始まりを感じられたため</p>
<p>21 佇む</p> 	<p>22 光勝晩鐘（臼井八景）</p>  <p>「けふも暮れぬ あわれいく世をふる寺の かねやむかしの音にひびくらん」（「臼井八景」の一つ光勝晩鐘 作者：信齋）今も昔も、印旛沼に響く鐘の音と印旛沼の美しい景観を眺望できます。</p>	<p>23 於申の松</p>  <p>この庚申塚は昔、印旛沼のほとりにあり、「印旛郡誌」には「於申の松とも呼ぶ実に湖畔の一勝地なり」と記載されている。現在、宅地化が進み消滅のおそれがあります。</p>	<p>24 「タンポポ丘」から</p>  <p>「湖の見えるタンポポ丘の桜の木の下で・・・」（佐倉市出身バンプオブチキン「くだらない唄」より）歌詞の光景のような美しい景観で全国から多くのファンが訪れていました。</p>

わたしが見つけた佐倉の景観応募写真応募者コメント一覧

<p>25 夕陽（せきよう）</p>  <p>夕暮れ時の美しさを伝えたい。</p>	<p>26 佐倉幸せの鐘</p>  <p>幸せな日々が続くことを願って。</p>	<p>27 春が来た</p>  <p>いつもは桜の開花とチューリップの開花は少しズレますが、今年は桜の開花が遅れ、桜とチューリップが同時期に観ることができました。</p>	<p>28 城址に咲く</p>  <p>佐倉城址に咲いた桜が綺麗でした。</p>
<p>29 チューリップと風車</p>  <p>ふるさと広場が今年から工事に入り令和10年までチューリップを見ることが出来ないのでもチューリップを見に行きました。</p>	<p>30 渦巻き</p>  <p>雲が渦を巻いているのと、色が綺麗</p>	<p>31 赤</p>  <p>赤く染った空が綺麗</p>	<p>32 雲</p>  <p>雲の形が気に入った</p>
<p>33 イチョウ散歩道</p>  <p>イチョウ並木とイチョウの黄色い絨毯がとても綺麗で癒されました</p>	<p>34 ひよどり坂の新緑</p>  <p>5月ころ、竹林の緑が非常に鮮やかに感じられたため</p>	<p>35 夏雲</p>  <p>風車から顔を出す入道雲に夏を感じた</p>	<p>36 休館の前に</p>  <p>休館となったことは寂しいことですが、多くの人が足を運んだ記録を残したいと思った</p>

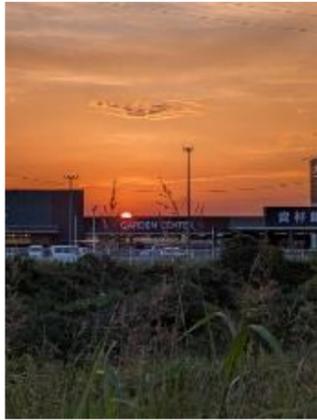
わたしが見つけた佐倉の景観応募写真応募者コメント一覧

<p>37 大根畑と白い雲</p>  <p>大根を加工する会社が側に有り一面の大根畑は圧巻です。海外の研修生も汗を流して働いています。ある日ウォーキングをしていると、こんなに素敵な農作業用車両が停めてありましたので、パシャリ。</p>	<p>38 巨大牧草ドーン</p>  <p>大型の農作業車が2台稼働しておりました。どうやら牧草の塊を作っているようでした。後日同じ場所を通りかかると、大きな塊となって、どーん！と置かれているではありませんか！佐倉にもこんな風景があるのですね。</p>	<p>39 「ぼっち」を見張る守り神</p>  <p>お隣、八街市では有名ですが、佐倉でも落花生を作っています。秋になると生落花生を加工前に山にして干します。「ぼっち」と言います。鳥に食べられないように大きな鳥型の凧(カイト)が飛び回っていました。</p>	<p>40 極寒の印旛沼の初日の出</p>  <p>一度訪れてみたかった初日の出の名所が佐倉市にもありました。極寒の冬の朝。今日は元日です。周りには大勢の人が。感動の年明けになりました</p>
<p>41 リーフデとコスモス</p>  <p>四季を通じて さまざまな顔を見せる ふるさと広場</p> <p>改修工事も進み 新たな顔となることを 心待ちにしています</p>	<p>42 石仏と曼珠沙華</p>  <p>毎年お彼岸になると 必ず咲き出す曼珠沙華</p> <p>何故か仏像がよく似合うものです ベストコンビです</p>	<p>43 印旛沼の桜</p>  <p>春の過ごしやすい季節で、桜にチューリップと毎年楽しみにしています</p>	<p>44 秋の絨毯</p>  <p>身近でこんな景色が見られることに今更驚きでした。</p>
<p>45 ラベンダーの香り</p>  <p>身近でこんな景色が見られることに今更驚きでした。自宅から10kmなので自転車で通っています。</p>	<p>46 菱の舞・印旛沼遠望</p>  <p>湖面に菱が一面に繁茂して、夕暮れの印旛沼は静かに時が流れて行きます。</p>	<p>47 早朝の生谷</p>  <p>日の出前、手繰り川沿いは一面に霞が立ち込め、コスモスが咲き競い、静かな時間が流れていました。</p>	<p>48 夜明けの印旛沼</p>  <p>早朝、印旛沼に行って来ました。大橋の上からのカメラをかまえていると、突然一双の舟がけたたましく出航、慌ててシャッターを切りました。湖面には波のラインが美しく残っていました。</p>

わたしが見つけた佐倉の景観応募写真応募者コメント一覧

<p>49 一角獣</p>  <p>狛犬の頭越しに角が生えたように杉が見えてまさに一角獣のよう。</p>	<p>50 一角樹</p>  <p>若い竹がまっすぐ成長しており一角獣ならぬ一角樹のよう。季節の折々で目についた木々を一角樹シリーズとして撮影しています。</p>	<p>51 幸運のしらせ</p>  <p>彩雲が幸運を運んできそうです。</p>	<p>52 紅葉</p>  <p>城址公園の中で一本だけ手を広げたように立って色づいていました。</p>
<p>53 野狐台町の御神酒所</p>  <p>御神酒所に狐の面をつけた氏子が印象的でした。</p>	<p>54 すがすがしい</p>  <p>青空とラベンダーの紫色が良い色合いでした。</p>	<p>55 ふるさとの夏</p>  <p>昨年にも増して、気温も高く、また長く続いた夏の夜の盆踊り。太鼓の音も響く中、暑さを忘れて踊る楽しい祭りの雰囲気を感じられるので応募しました。</p>	<p>56 これぞ祭りフェイス</p>  <p>重い神輿を担ぐ人達の楽しそうな表情、重みに耐えている表情。さらに周りの人々が手をたたいたり、タオルを回している人など、さまざまなものが一体となって祭りの熱気を感じました。</p>
<p>57 春風が運ぶ紫の香り</p>  <p>レンゲソウ（タマサキクサフジか？）が一面に咲いている。その先にたくさんの人々が集い、風車をバックにそよぐ春風を肌で感じた写真を選びました。</p>	<p>58 夕日の紅葉</p>  <p>紅葉に夕日があたり、綺麗だったから</p>	<p>59 夕日の紅葉</p>  <p>紅葉に夕日があたり、綺麗だったから</p>	<p>60 春の妖精</p>  <p>カタクリは地球の寒冷期に北方より分布を広げた花ですから、今年の夏はつらいと思います。早春には落葉樹林の地表まで日光が届くのでカタクリはこの時期だけ葉を広げ、大急ぎで花を咲かせすぐに種を付け枯れるので春の妖精といわれます。</p>

わたしが見つけた佐倉の景観応募写真応募者コメント一覧

<p>61 縄張り主張の雄叫び</p>  <p>ケン、ケーンと雉が鳴くのは、繁殖地の縄張り宣言と雌へのアピールです。緑肥としてレンゲソウが栽培されていた頃には花の中の雉が写せましたが、今では無理な注文です。畔のハルジオンとシロツメクサが代役です。</p>	<p>62 盆花の咲く谷津</p>  <p>ミソハギはお盆に欠かせない花として、昔から水田の脇などに植えられていました。この水路では農家さんが除草の時に残してくれるので、年ごとに増えています。</p>	<p>63 夕焼け</p>  <p>こんな綺麗な夕焼けを見たことがなかったので感動して撮った写真。</p>	<p>64 青空に伸びる橋</p>  <p>青空と橋が重なっており街並みの雰囲気が出ているからです。</p>
<p>65 懐かしいはさ掛け</p>  <p>今では見るのが珍しいはさ掛けを皆んなに知ってほしい。</p>	<p>66 座るのがもったいない木陰の風景</p>  <p>木陰を見つけたが風景を壊したくなくてベンチには座りませんでした。</p>	<p>67 春を歌う</p>  <p>家の上に咲いた見事な桜に感動して</p>	<p>68 春暮</p>  <p>暮れなずむ春の寂寥感を感じて</p>
<p>69 冬景</p>  <p>佐倉では珍しい雪景色に感動して</p>	<p>70 竜神橋夕景</p>  <p>印旛沼の夕景は絶景が多く、竜神橋からの夕景は最高です。</p>	<p>71 絶景・城址公園満開桜</p>  <p>桜が満開の佐倉城址公園は絶景。この日は青空と白い雲、桜と芝生の鮮やかなコントラストが最高でした。</p>	<p>72 駐車場の銀杏</p>  <p>城址公園に来て、駐車場から秋らしい景色を楽しめたので選びました。</p>

わたしが見つけた佐倉の景観応募写真応募者コメント一覧

<p>73 彼岸花と風車</p>  <p>チューリップやひまわり、コスモスだけでなく、彼岸花とも一緒に撮影できたので、選びました。</p>	<p>74 ここは極楽浄土？</p>  <p>広大な敷地に満開となる蓮は、本当に圧巻です。</p>	<p>75 トウカエデ並木の紅葉</p>  <p>どこにも負けない紅葉。紅葉も落ち葉も又よいものだが、この並木沿いにあるお宅には大変な掃除をお願いすることになり、又見通しが悪くなることもあって、次第に切られてきているようで楽しむ我々には残念。</p>	<p>76 風車の朝</p>  <p>窓から朝日が</p>
<p>77 印旛沼の朝</p>  <p>朝日を受けて船が行く</p>	<p>78 木斛の樹に朝の光が</p>  <p>木斛の樹に朝の光が（光り当る）</p>	<p>79 雪のひよどり坂</p>  <p>雪のひよどり坂はめずらしいから</p>	<p>80 雪晴</p>  <p>雪の降った翌朝風車が気になり急いで車を走らせ撮りました。</p>
<p>81 竜飲</p>  <p>竜の口から水の出るシーンを撮りたくて夕やけを待って撮りました</p>	<p>82 光の拡散</p> 	<p>83 彩雲、そして美しき高崎川の水鏡</p>  <p>幼き頃より空の広さと白い雲が好きでした。秋の空は又格別で風のない日の水の映りこみは本当に美しく遠くにはいかずしてこんなに美しい風景に出逢えて…佐倉は歴史の街でもあります自然も豊かでいごちのいい場所。このような景色が永遠でありますようにとの思いでスマホで撮りました。</p>	<p>84 秋の空、美しきかな</p>  <p>同左</p>

わたしが見つけた佐倉の景観応募写真応募者コメント一覧

<p>85 ほっこり</p>  <p>沢山の河津桜が咲き誇る所に富士山を連想させる様な雲が表れて心が和んだ。毎年、河津桜祭り等のイベントが開催されて多くの人達が訪れる憩いの場です。</p>	<p>86 春爛漫</p>  <p>色とりどりのチューリップや、重厚なレンガ造りの風車と雲のコラボレーションが素晴らしかった。</p>	<p>87 燦燦</p>  <p>水面にメタセコイヤの映り込みや水に浮かんだ落ち葉が輝いて幻想的だった。</p>	<p>88 未来に続く道</p>  <p>街路樹を守りたい。</p>
<p>89 山王公園のさくら</p>  <p>地域の皆さんに愛される山王公園</p>	<p>90 朝焼けの駅前ロータリー</p>  <p>早起きした朝、佐倉で見る朝焼けはこんなに綺麗なんだと思いました</p>	<p>91 遥か遠くに富士を望む</p>  <p>佐倉からは富士山は見えないと思っている人が多い。佐倉城址公園と併せてサンセットヒルズは富士山の夕日がきれいです。</p>	<p>92 子どもを見守るお地蔵さん</p>  <p>赤い幕がとてもキレイ</p>
<p>93 寺崎寺山は夕日の名所</p>  <p>大好きな夕日が田んぼを染めてとてもキレイ</p>	<p>94 静穏</p>  <p>雪の駐車場に朝の光が差し込み、木々が静かに朝を迎え、とても静穏な冬景色と思っています。</p>	<p>95 静</p>  <p>湖畔の豊かな自然環境に歩いてゆくととても幸せになります。</p>	<p>96 金秋</p>  <p>美しいイチョウ並木の下でお散歩します。</p>

わたしが見つけた佐倉の景観応募写真応募者コメント一覧

<p>97 街路樹</p>  <p>紅葉した街路樹に感激した。</p>	<p>98 盛夏の手入れ</p>  <p>酷暑の中、黙々と広い水田の手入れをされている農家の方に敬意を感じて撮影しました。</p>	<p>99 ワイドコスモス</p>  <p>定番の満開コスモスとリーフデですが、後ろの青空と放射状の雲がマッチしていたのが印象的で、ぐっと寄って撮ってみました。</p>	<p>100 どこまでもスーパー水田</p>  <p>世界に誇るスーパー水田をローアングルで撮ってみました。 どこまでも続く水田と、ほぼ道路と同じ高さに水が張られている高度な技術を訴えたかったです。</p>
<p>101 秋桜と愛</p>  <p>千葉県の中でも有名なふるさと広場のコスモスと風車を絡めた。 赤色のコスモスの花言葉である「愛情」と風車「リーフデ」の意味「友愛」の愛をタイトルに入れた。</p>			